



～ ITの力で医療をサポート ～

私たちが見据えるのは
未来です



投資家の皆様へ

ソフトマックス株式会社

東証グロース 証券コード：3671



- 1 会社概要
- 2 医療を取り巻く現況
- 3 当社の強みと特徴
- 4 今後の戦略
- 5 2025年12月期の見通し
- 6 参考資料



- 1 会社概要
- 2 医療を取り巻く現況
- 3 当社の強みと特徴
- 4 今後の戦略
- 5 2025年12月期の見通し
- 6 参考資料

経営理念

顧客の成功と利益

情報技術を駆使し、高品質かつ柔軟性・拡張性のあるシステムの構築を通して、お客様に最適なソリューションを提供するトータルなシステムインテグレーションサービスを実現します。

本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー7階
本店	鹿児島市加治屋町12-11
設立	1974年1月
上場市場	東京証券取引所グロース
資本金	448,445,148円
代表者	代表取締役会長 野村 俊郎 代表取締役社長 萩原 千恵子
従業員数	246名(2025年6月30日現在)
事業内容	Web型電子カルテシステム等 医療情報システムの 開発・販売・導入・保守

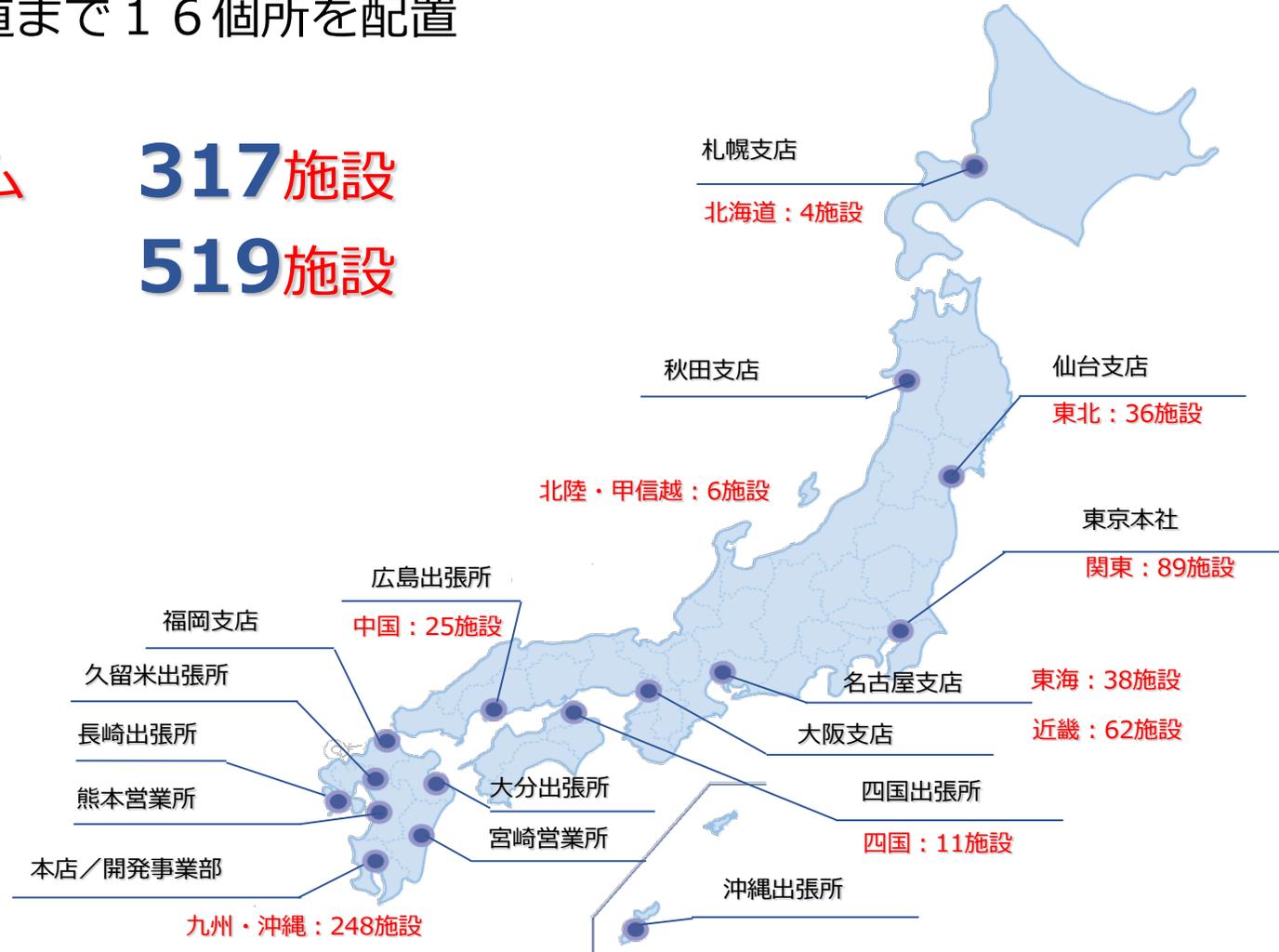
沿革

1974年	会社設立
1978年	医事会計システムを開発・販売
2002年	オーダリングシステムを開発・販売
2004年	電子カルテシステムを開発・販売
2004年	本社を東京都に開設
2011年	日本オラクル社とASFU契約
2011年	最新Web型電子カルテシステムを開発・販売
2013年	東京証券取引所マザーズ（現グロース）に上場
2013年	製品ブランド名変更 “PlusUs”へ
2014年	プライベートクラウドシステム稼動
2016年	データセンターを利用した パブリッククラウドシステム稼動
2020年	札幌営業所を開設
2023年	仙台支店を開設

お客様が社会インフラとして機能するために必要な拠点を配置しております。

※南は沖縄から北は北海道まで16個所を配置

電子カルテシステム **317施設**
医事会計システム **519施設**



— MEDICAL WORKERS —



医療従事者や病院経営層にとって
土台となるシステム

電子カルテ

- ・電子カルテシステム
- ・オーダリングシステム

部門支援

- ・リハビリ部門
- ・看護勤務
- ・健診部門
- ・手術部門
- ・放射線部門
- ・病院物品

医療事務

- ・医事会計システム

経営支援

- ・医療DWH
- ・BIツール

成長型システムとして、陳腐化しない最新のアプリケーションを提供

システム導入後も保守の範囲内で定期的に機能のリビジョンアップを行い、システム設定の変更等により、常に**最新バージョンの電子カルテシステム**をご利用頂けます。
ライセンスフリーを採用している為**コストミニマム**でご利用頂けるシステムを提供致します。

コスト・労力・セキュリティ等、様々なメリットのあるクラウド型電子カルテシステムを提供

初期費用の低減、サーバ管理コストの削減、ランサムウェア対策・BPC対策を可能な限り万全にした、クラウド型電子カルテです。
オンプレミス型とクラウド型、両者で変わらない機能のパッケージ型の電子カルテシステムであり、グループ病院などに最適なシステム構築が可能で、ご要望に応じてご提供させていただきます。
Webシステムはモバイル端末などの持ち運び可能で、訪問診療にも最適なシステムです。

開発メーカーの直接提供による一貫した保守体制を提供

開発から導入・保守まで一貫して提供を行う弊社の体制により、運用中のサポートにおいては**24時間365日**のサポートセンターで自社のSEが直接対応します。システムに精通した開発者やSEが所属し対応することにより問題解決のサポートを行います。

既存顧客のシステム更新とクラウド型電子カルテシステムの新規受注が堅調に推移。
医療DXの追い風もあり増収・増益で着地。

(単位：百万円（配当金を除く）、下段は構成比)

	2025年12月期 中間期	2025年12月期 中間期		
	予算	実績	対予算比	主な増減要因（前中間会計期間比）
売上高	3,096 (100.0%)	3,845 (100.0%)	+ 24.2%	システムソフトウェア販売高の増加 (+ 52.9%) ◆ ハードウェア販売高の増加 (+ 163.9%) 保守サービス等売上高の増加 (+ 17.2%)
営業利益	250 (8.1%)	418 (10.9%)	+ 67.2%	◆ 売上総利益の増加 (+ 30.0%) 販売費及び一般管理費の減少 (▲ 5.1%)
経常利益	274 (8.9%)	440 (11.5%)	+ 60.7%	営業利益の増加 (+ 129.9%) 営業外収益の増加 (+ 5.0%)
当期純利益	183 (5.9%)	305 (7.9%)	+ 66.4%	税引前当期純利益の増加 (+ 115.4%) 法人税等の増加 (+ 185.3%)
1株当たり配当金	30円	※ (予定) 7.5円		

※2025年度の予想額は2025年7月1日で1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、当初予想額の1/4の金額となっております。



- 1 会社概要
- 2 医療を取り巻く現況
- 3 当社の強みと特徴
- 4 今後の戦略
- 5 2025年12月期の見通し
- 6 参考資料

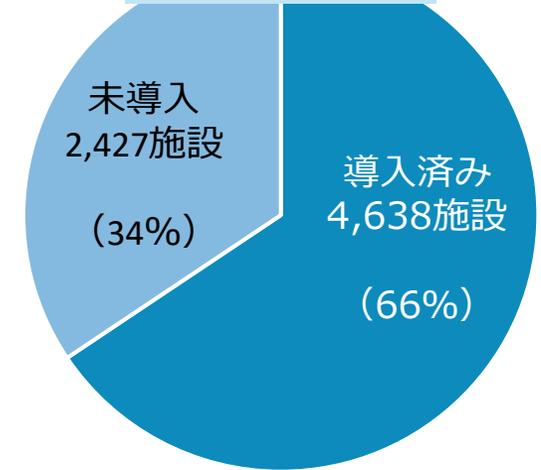
(参考) 電子カルテシステムの普及状況の推移

出典：医療施設調査（厚生労働省）

	一般病院 (※1)	病床規模別			一般診療所 (※2)
		400床以上	200～399床	200床未満	
平成 29年	46.7 % (3,432/7,353)	85.4 % (603/706)	64.9 % (864/1,332)	37.0 % (1,965/5,315)	41.6 % (42,167/101,471)
令和 2年	57.2 % (4,109/7,179)	91.2 % (609/668)	74.8 % (928/1,241)	48.8 % (2,572/5,270)	49.9 % (51,199/102,612)
令和 5年	65.6 % (4,638/7,065)	93.7 % (609/650)	79.2 % (956/1,207)	59.0 % (3,073/5,208)	55.0 % (57,662/104,894)

商機！

全7,065施設



電子カルテシステムの導入施設数

【注 釈】

- (※1) 一般病院とは、病院のうち、精神科病床のみを有する病院及び結核病床のみを有する病院を除いたものをいう。
- (※2) 一般診療所とは、診療所のうち歯科医業のみを行う診療所を除いたものをいう。
- (※3) 平成23年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値である。

◆厚生労働省発表では
**2030年に電子カルテ普及率を
100%**にすると公表している。

⇒補助金対策など利用した商機拡大

◆弊社ターゲットとしては
200床未満 約2,100施設
400床未満 約250施設

⇒ホワイトスペースで商機あり

【医療に関わる社会課題】

行政

- ・ 医療費抑制
- ・ 地域医療連携
- ・ 地域包括ケア

医療機関

- ・ ICTによるDXの推進
- ・ 医療安全体制・セキュリティ（ランサムウェア対策等）
- ・ 医療従事者の働き方改革

患者

- ・ 二重検査や二重投薬等の負担軽減
- ・ 医療の地域格差の解消

これらの社会課題の解決をソフトマックスが支援します。



- 1 会社概要
- 2 医療を取り巻く現況
- 3 当社の強みと特徴
 - 1 製品ラインナップ
 - 2 電子カルテで他社に先駆けウェブ技術を採用
 - 3 クラウド基盤の積極的な活用
 - 4 堅牢なOracleデータベース基盤技術を共通採用
 - 5 関連部門システム、データ利活用との連携性の担保
- 4 今後の戦略
- 5 2025年12月期の見通し
- 6 参考資料



医療現場の声を活かした機能をパッケージ化

診療支援システム

- PlusUs-カルテ
- PlusUs-オーダーリング
- PlusUs-看護支援

【オプション一覧】

- ・Android看護支援
- ・透析支援
- ・リウマチ診療支援
- ・回復期リハビリ支援
- ・産科支援
- ・チーム医療支援
- ・持参薬管理支援
- ・慢性疾患支援
- ・訪問診療支援
- ・化学療法支援
- ・SS-MIX2出力
- etc...



多彩なオプション群による診療支援！



シンプルかつスピーディな操作性

医療事務支援システム

PlusUs-医事

【オプション一覧】

- ・DPC支援
- ・データ提出加算支援
- ・外来自動会計
- ・様式1作成支援
- ・督促管理支援
- ・小遣い銭管理支援
- ・オンライン資格確認
- ・保険証取り込み
- ・自動精算機連携
- ・公開データベース
- ・QRコード付き処方箋
- etc...



部門間のシームレスな連携

部門支援システム

- PlusUs-リハ
- PlusUs-看護勤務
- PlusUs-手術
- PlusUs-インシデント
- PlusUs-健診
- PlusUs-DWH

理想的なチーム医療を実現！

急性期医療～慢性期医療までに求められる機能をワンパッケージ化

様々な病棟特性をもつ病院様においても、ワンパッケージのシステム利用が可能となります。
多様な機能の中から、病棟特性や診療科、ログイン者の職種に合わせた機能を選択してご利用頂けます。



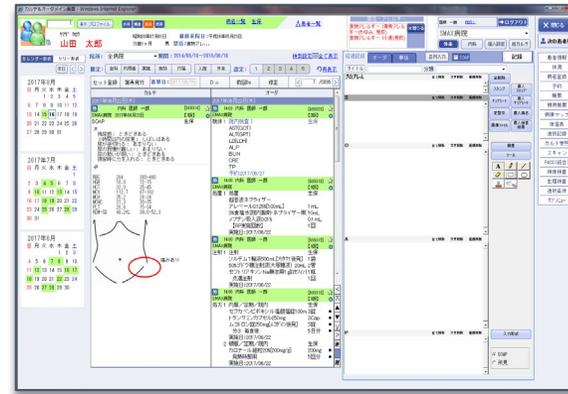
通院(在宅)
医療

急性期
医療



- 【診療科固有や疾患別の診療支援】**
- ・透析支援機能 (コンソール連携)
 - ・産科支援機能 (妊婦記録、分娩記録、新生児記録)
 - ・訪問診療支援機能
 - ・リウマチ評価支援機能
 - ・心カテ予約支援機能
 - ・歯科口腔外科支援機能
 - ・精神科支援機能

介護
施設



回復期
医療

- 【急性期医療】**
- ・適切な入院期間
 - ・クリティカルパス機能
 - ・看護必要度
 - ・医療安全 (3点チェック)
 - ・手術部門システム
 - ・持参薬管理機能
 - ・化学療法 (レジメン) 管理機能



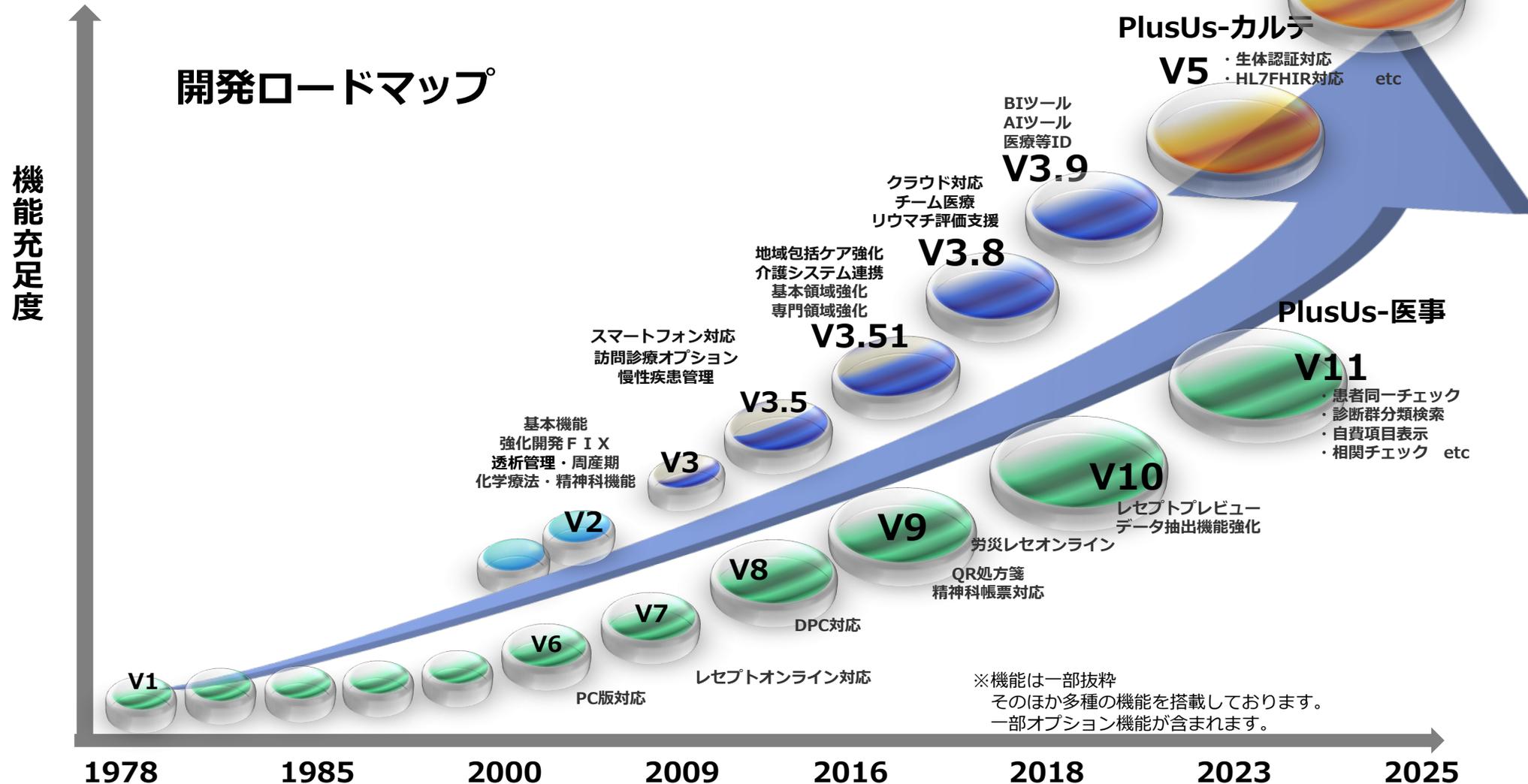
- 【慢性期 (療養) 医療・介護・在宅】**
- ・医療区分・ADL区分に係る評価票
 - ・慢性疾患支援年間計画表

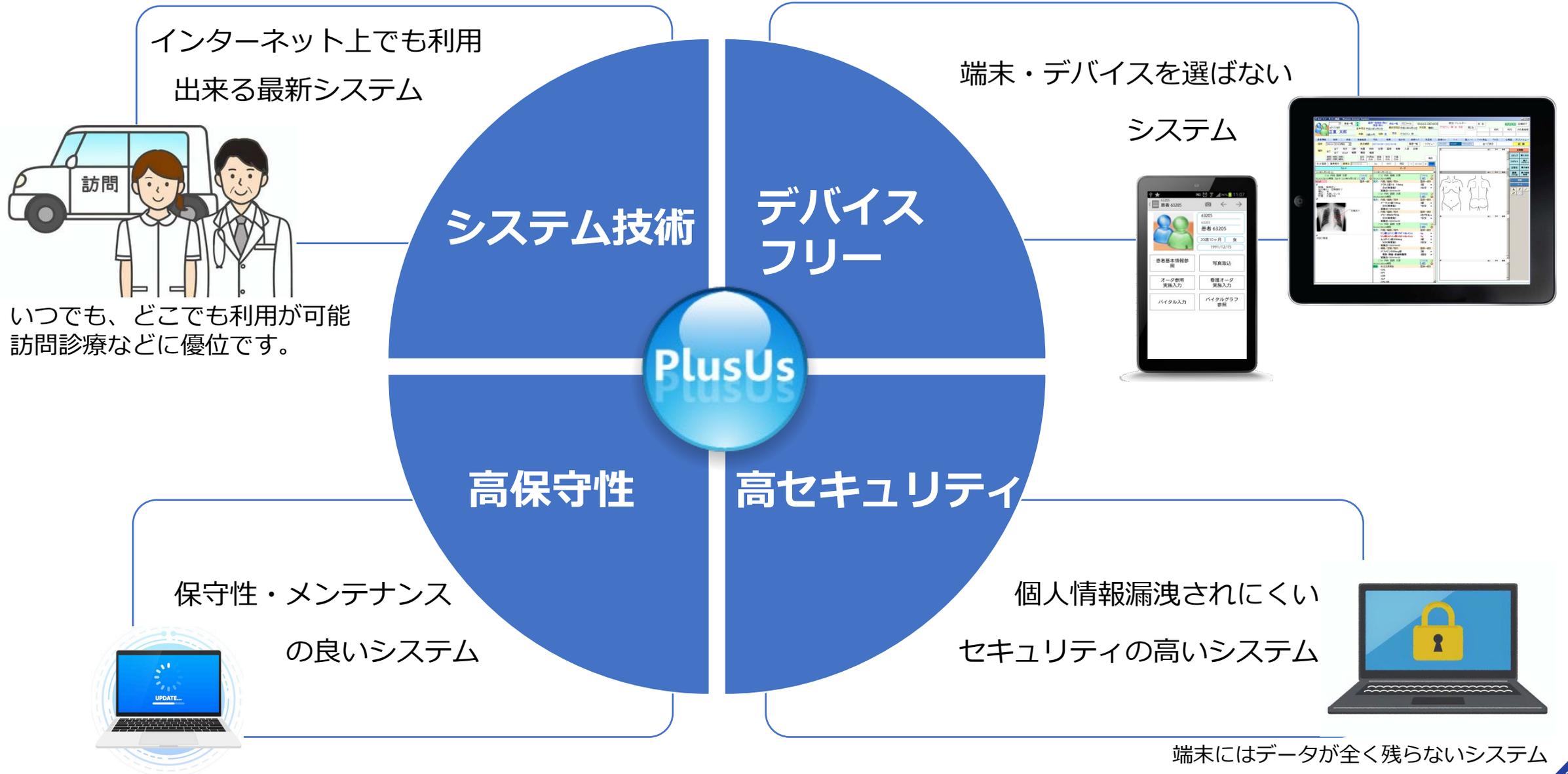
慢性期
(療養)
医療



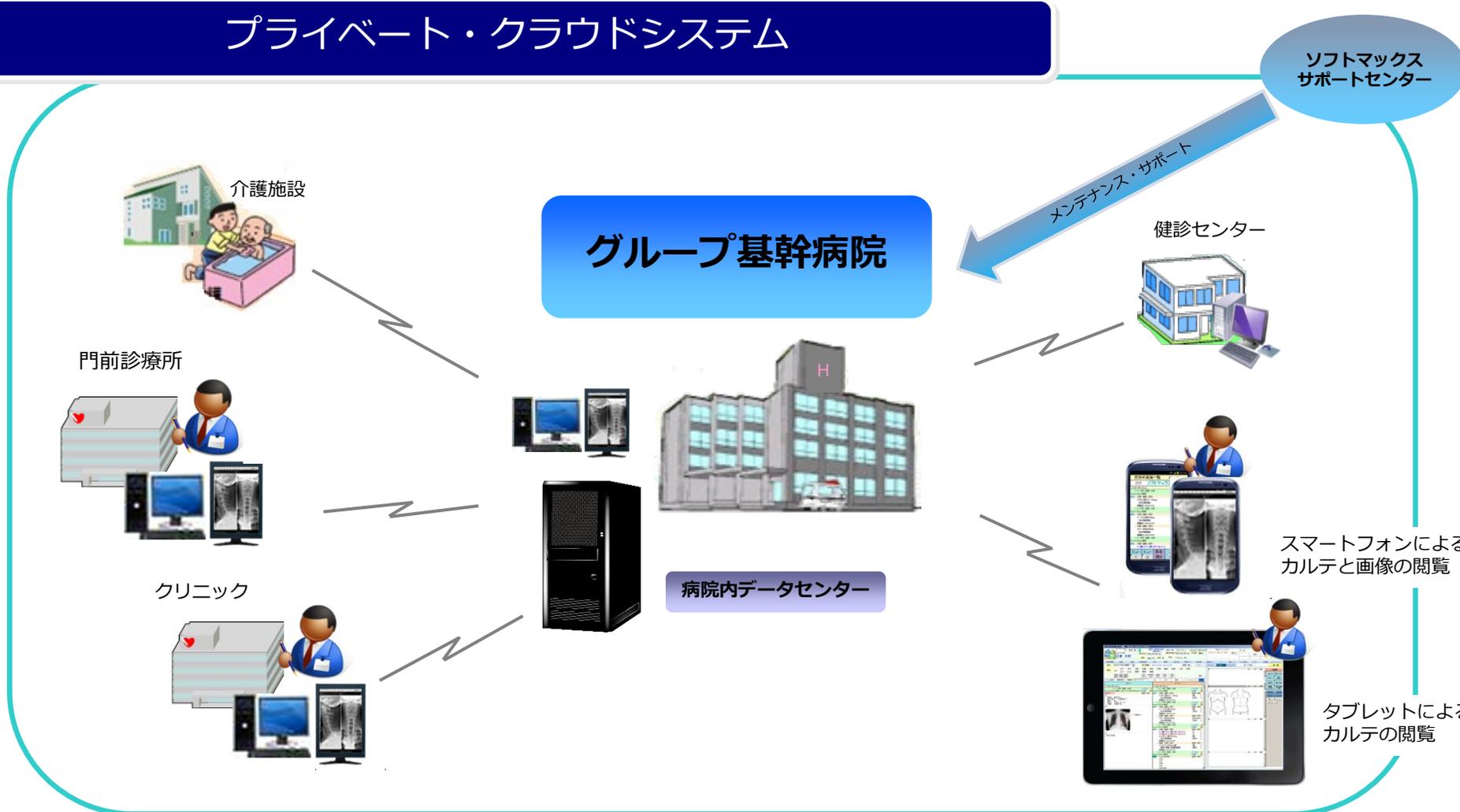
- 【回復期医療】**
- 日常生活機能評価—
 - 様式49関連の作成、分析機能—
 - ・10点以上の患者の受け入れ
 - ・4点以上回復患者の退院
 - ・在宅復帰率
 - ・FIM、BI評価

導入済み病院様・ご提案中病院様からの要望を常に検討し、計画的に機能拡張していく将来にわたって陳腐化しないシステムの提供





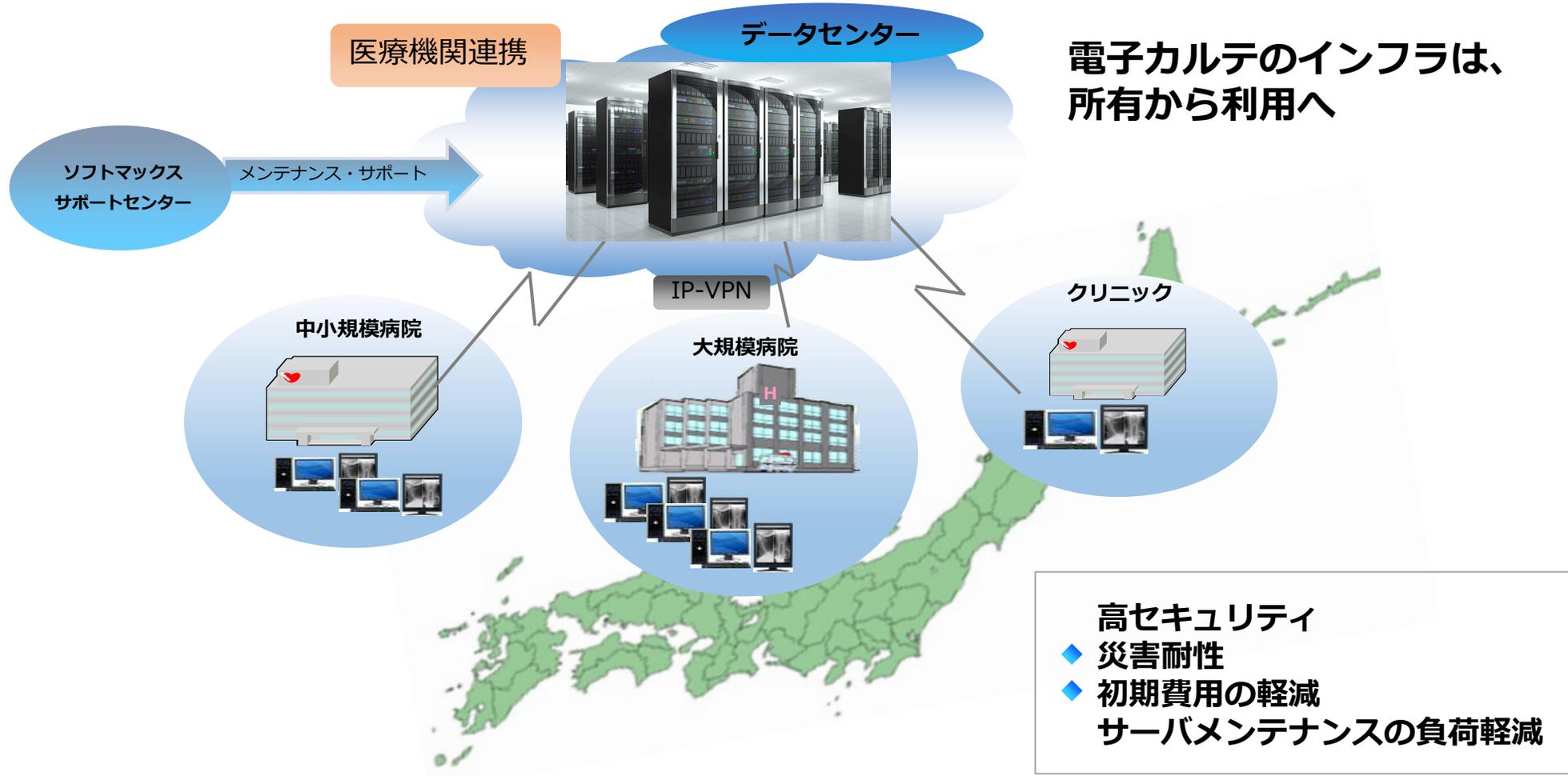
プライベート・クラウドシステム



ソフトマックスのWeb型電子カルテシステムでは、
院内オンプレミス型・データセンタークラウド型のどちらの運用形態でも選択可能です。
同一パッケージの為、機能差なくご利用頂ける為施設状況に合わせた運用を実現できます。

- ◆ 同一グループによる情報共有
- ◆ サーバ費用の軽減
- ◆ サーバメンテナンスの負荷軽減

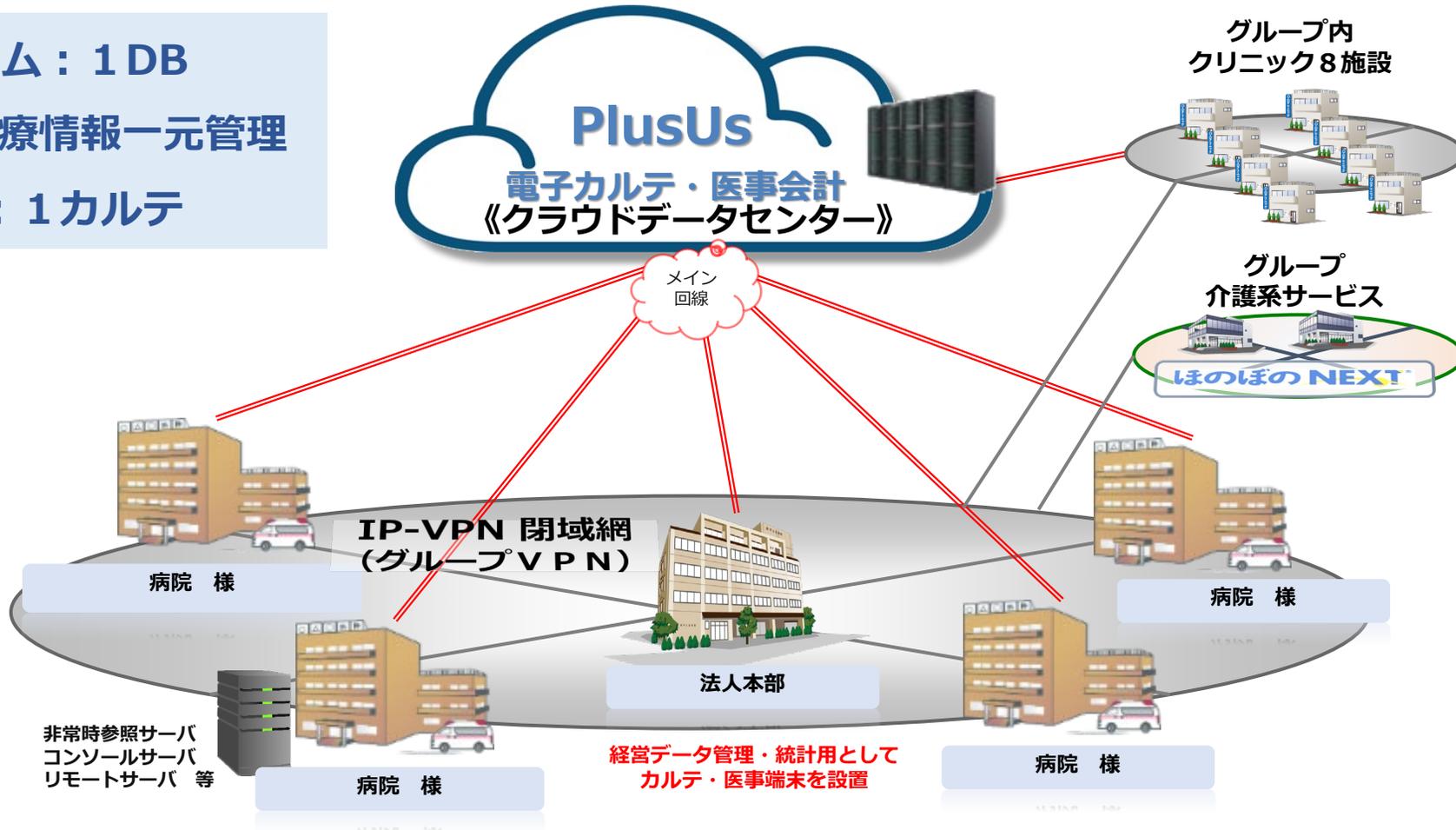
パブリック・クラウドシステム



パブリック・クラウドシステム

本部を含めた13施設様に当社電子カルテを導入しております。
 主要サーバはデータセンターに設置し、1システム・1DBで複数施設の診療情報を一元管理しております。
 回線については各施設とデータセンターを接続し、万が一の回線遮断トラブルの際は足立東部病院に設置した非常時参照サーバをグループ間IP-VPN回線で参照（各施設複数台）致します。

1システム：1DB
複数施設の診療情報一元管理
1患者：1カルテ



システム導入課題

コスト！

システム投資が負担

2025年の壁！

人材不足・SE不足

安全性！

ランサムウェアの脅威

データセンター



DC利用のクラウドサービスの優位性

初期投資費用の軽減

DC利用料によるサブスクモデルへ切り替えによる投資の平準化が図られます。

運用管理者不要

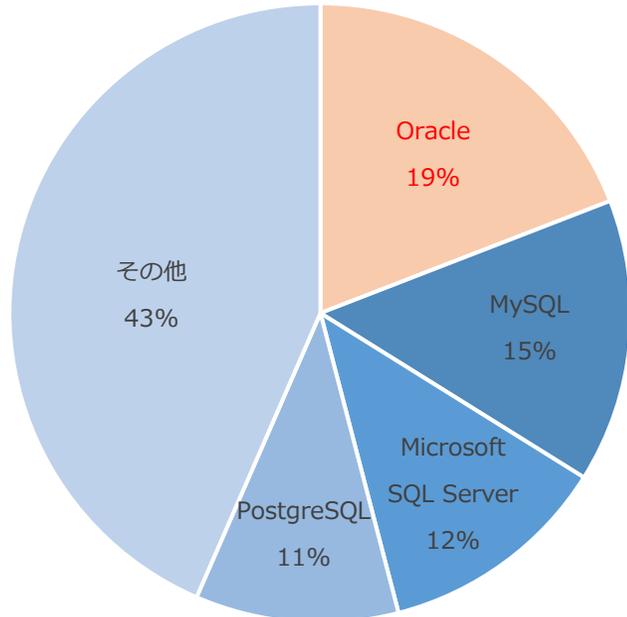
DC管理に切り替わり、サーバ管理者が不要となります。

高セキュリティ対策

ランサムウェア対策も図られると共に3省2ガイドラインを遵守したDCの利用でガイドラインの担保となります。

堅牢性・柔軟性・耐障害性・信頼性において高い水準のOracleデータベースを採用しております。
国内（東京／大阪）にリージョンを持ち、厚生労働省、経済産業省・総務省の3省2ガイドラインに
適合したデータセンターです。

DBエンジン人気度



■ Oracle ■ MySQL ■ Microsoft SQL Server ■ PostgreSQL ■ その他

出典元：solid IT（DB-Engines Ranking）



2022年 オラクル エクセレンス アワード
 ビジナリーISVパートナーオブザイヤー受賞

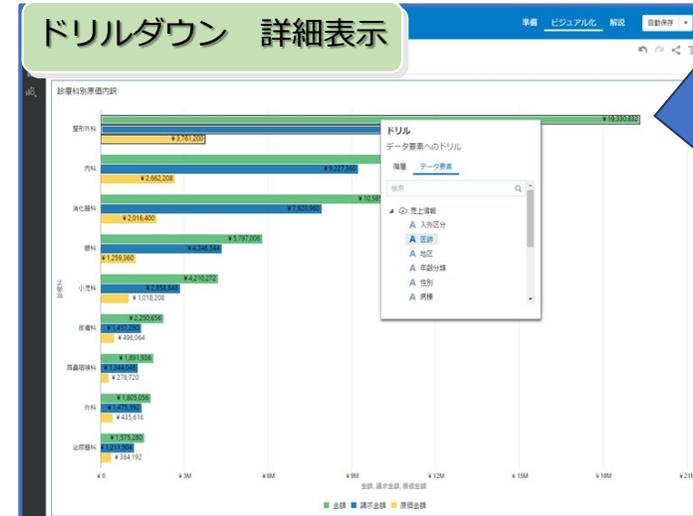
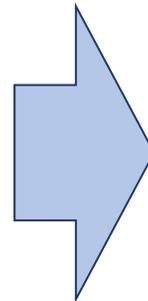
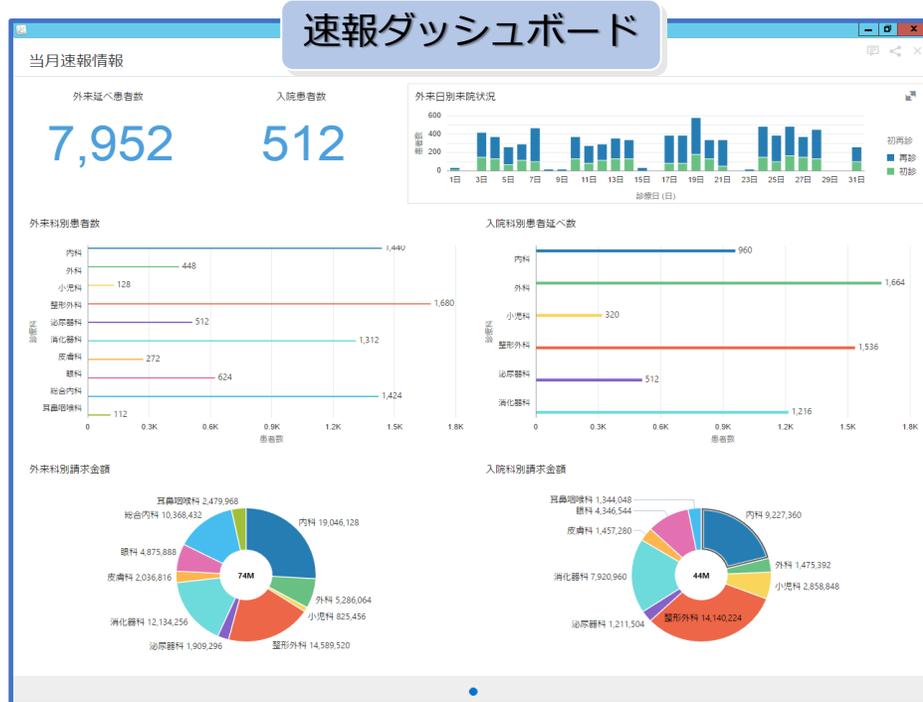


2024年 オラクル ジャパン アワード
 ベストクラウドISVパートナーオブザイヤー受賞

BIツールを利用した統計データを元に経営分析が可能

日々の経営状況を速報ダッシュボードとして即時に経営確認できる機能を提供いたします。

月・四半期・年単位の各種統計情報もBIツールを利用して視覚的にかつ瞬時に表現され、経営分析に寄与するシステムを提供します。





- 1 会社概要
- 2 医療を取り巻く現況
- 3 当社の強みと特徴
- 4 今後の戦略
 - 1 医療DX
 - (1) 政府施策と進捗
 - (2) 補助金の活用
 - 2 他社との協業とAIの活用
 - (1) ソフトバンク社（HEMILLIONS社）との協業
 - (2) ウィーメックスヘルスケアシステムズ社との協業
 - 3 Web技術を搭載した新製品開発
 - 4 販売戦略
 - 5 人材の確保・育成と働き方改革の推進
 - 6 グロース市場上場維持基準の引き上げ方針への対応
- 5 2025年12月期の見通し
- 6 参考資料

医療DX令和ビジョン2030の方向性から、今後電子カルテの標準化・医療ビッグデータの情報源である電子カルテへの導入促進が進められています。

2021年からのマイナンバーカードを活用した政策についても随時対応しております。

ぜひ、一度使ってみませんか？ マイナンバーカードの保険証利用

マイナンバーカードの保険証利用には
さまざまなメリットがあります！



Point!

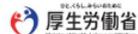
薬剤情報等の提供に**同意**をすると、
データに基づく適切な医療が受けられる！
さらに…健康保険証で受診した場合と比べて、
初診時等の窓口負担が低くなる！

Point!

限度額適用認定証等がなくても、
**手続きなしで高額療養費の限度額を超える
支払いが免除！**

詳しくは厚生労働省Webサイトでご確認いただけます。

詳しくは **マイナンバーカード 保険証利用**



マイナンバーカードの健康保険証利用の申込みは

当日その場でも
いいのね♪

医療機関・薬局の受付でもOK！



マイナンバーカードを医療機関・薬局にお持ちいただくだけで、
健康保険証として利用するための申込み手続きや、実際に利用いただくことが可能です！



顔認証付き
カードリーダーに
マイナンバーカードを置く

保険証登録未実施の
場合
次の画面へ

この画面から
お申込み

※顔認証付きカードリーダーの機種によっては本人確認や同意取得の必要となるタイミングが、異なる場合があります。
※申込み完了までに少々お時間をいただく場合がございます。
※転勤・転居等により保険者が変わり手続きが終了していない場合には、マイナ保険証で受診いただけません。

デジタル庁



健康保険証利用の
申込みのお問合せ先



マイナンバー
フリーダイヤル

0120-95-0178

5番を選択のうえ、音声ガイダンスにしたがってお進みください。
受付時間（年末年始を除く）
平日：9時30分～20時00分
土日祝：9時30分～17時30分

健康・医療・介護情報利活用検討会
医療等情報利活用ワーキンググループ
(令和6年12月2日)

▶▶ 電子処方箋管理サービス 厚生労働省ホームページより

⇒電子処方箋追加機能（院内処方）等

▶▶ 電子カルテ情報共有サービス 健康・医療・介護情報利活用検討会 医療等情報利活用ワーキンググループ（令和6年12月2日）

⇒全国医療情報プラットフォームの構築にむけた施策の運用開始

- »医療情報化支援基金活用による電子カルテ情報の標準化を普及
- »救急時に医療機関等で患者の医療情報を閲覧できる仕組みの運用開始と普及
- »マイナポータル機能追加（6情報閲覧サービス構築）
- »次の感染症危機に備えた情報共有サービスの利用等の検討

▶▶ 診療報酬DX 厚生労働省ホームページより

⇒共通算定モジュールのa版提供開始

⇒2026年 標準型レセコンの提供

⇒デジタル化による業務の効率化、人材の有効活用を実現

▶▶ 医療DXに関する補助金事業

社会保険診療報酬支払基金医療機関等向け総合ポータルサイト、
厚生労働省ホームページ

⇒より多くの国民の皆様に医療DXに関するサービスの利用を提供するため、補助金を支給することで医療機関の積極的な導入を促す。

- ▶▶ 電子処方箋管理サービス等関係補助金
- ▶▶ 電子カルテ情報共有サービスの導入に係る補助金

▶▶ ICT機器活用モデル事業

厚生労働省ホームページより

⇒医療費助成分野等でのマイナンバーカードを活用したデジタル化の推進を目指す。
※自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システム（Public Medical Hub: PMH）。
公費負担医療制度等の資格確認オンライン化に関する取組み。

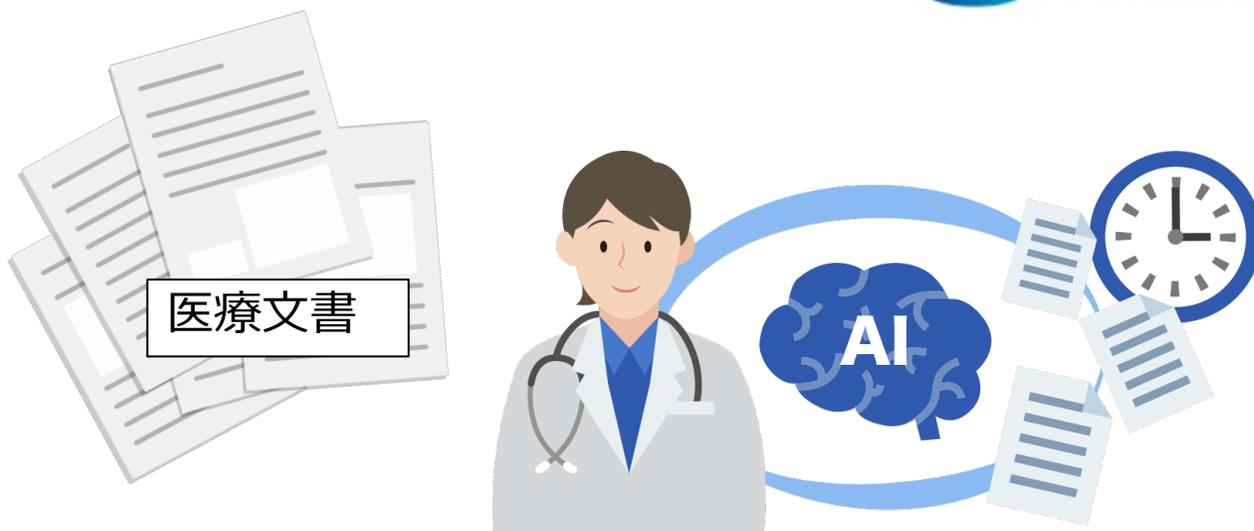
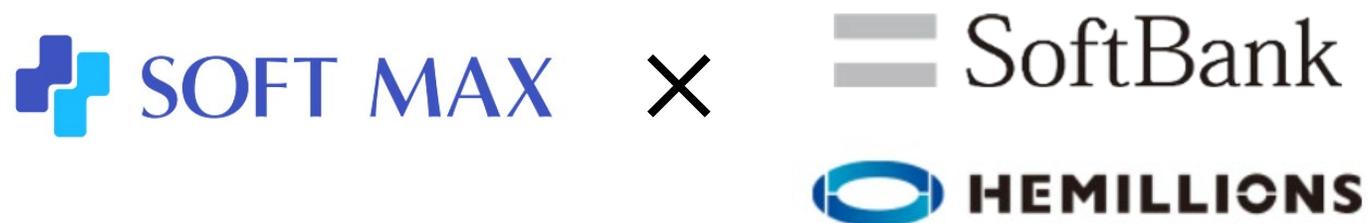
▶▶ 各自治体 補助金交付事業

- ◆東京都 令和7年度病院診療情報デジタル推進事業
- ◆神奈川県 看護業務等ICT導入支援事業費補助事業

ソフトバンク社、HEMILLIONS社とのモデル事業

LLM（Large Language Models、大規模言語モデル）等のAI技術による、電子カルテシステムの高機能化及び新機能の開発文章作成支援に対応し、医療費の削減や医療従事者の働き方改革等を推し進めます。

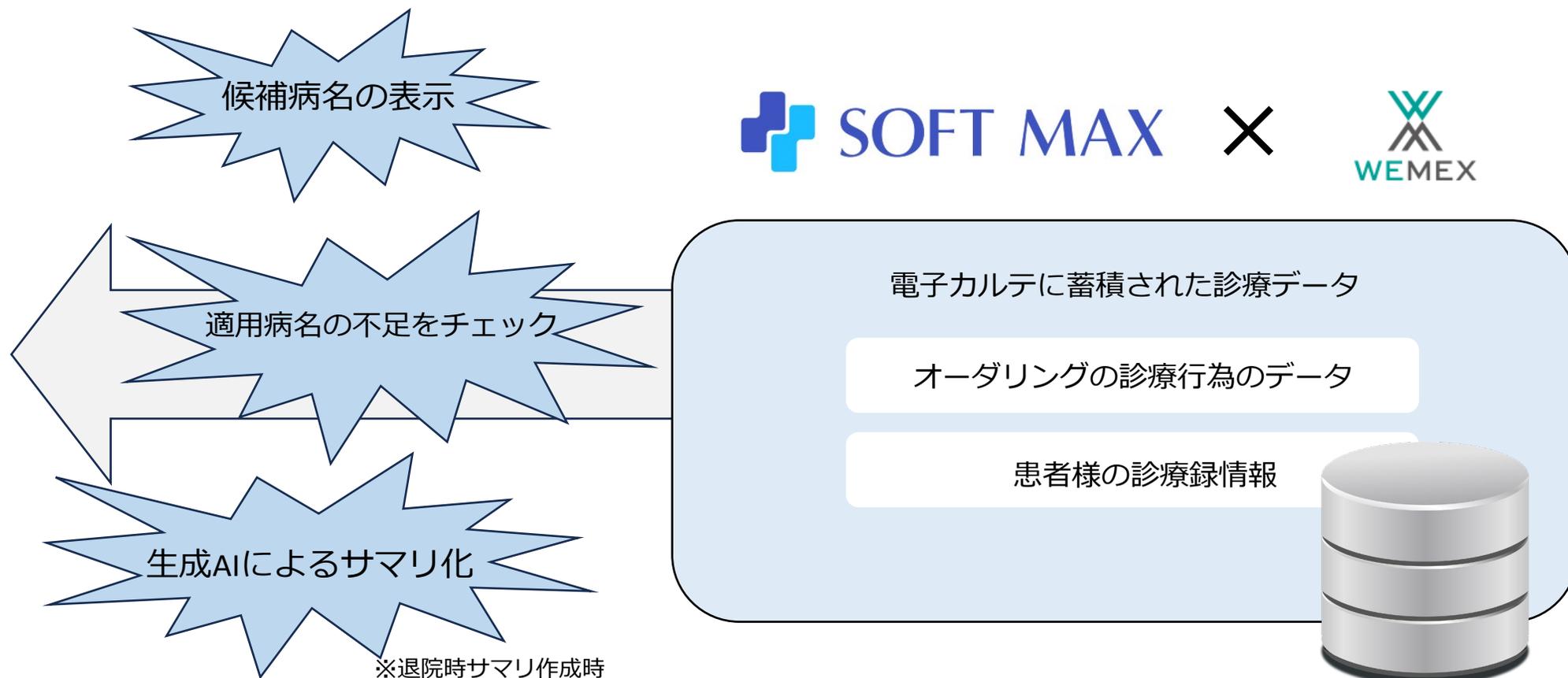
今後についてもデータの標準化・利活用を通じて医療DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進いたします。



医師の負担軽減と労働時間削減に貢献

ウィーメックスヘルスケアシステムズ社とのシステム連携

電子カルテ入力時に病名点検を行うことにより、医師の負担軽減、病名のつけ忘れによる査定を防ぎ、レセプト業務の効率化にも貢献します。また、今後もレセプトチェックとの関係性の強化を継続していく予定です。



「医療現場の効率化」「医療機関収支向上（査定減）」に貢献

Web型電子カルテの最大限の利点を生かし、BtoBtoCの機能開発を推し進め、他社との差別化を図ります。
医療情報の患者主権化を推進し、PHRの活用による健康増進とデータ利活用を促し、医療DXを推進いたします。

Web問診
Web予約



PHR
検査結果参照
健診結果参照
バイタル送信※

※バイタル：
脈拍、SpO2、血圧、
意識、呼吸、体温

ICTの利活用の促進

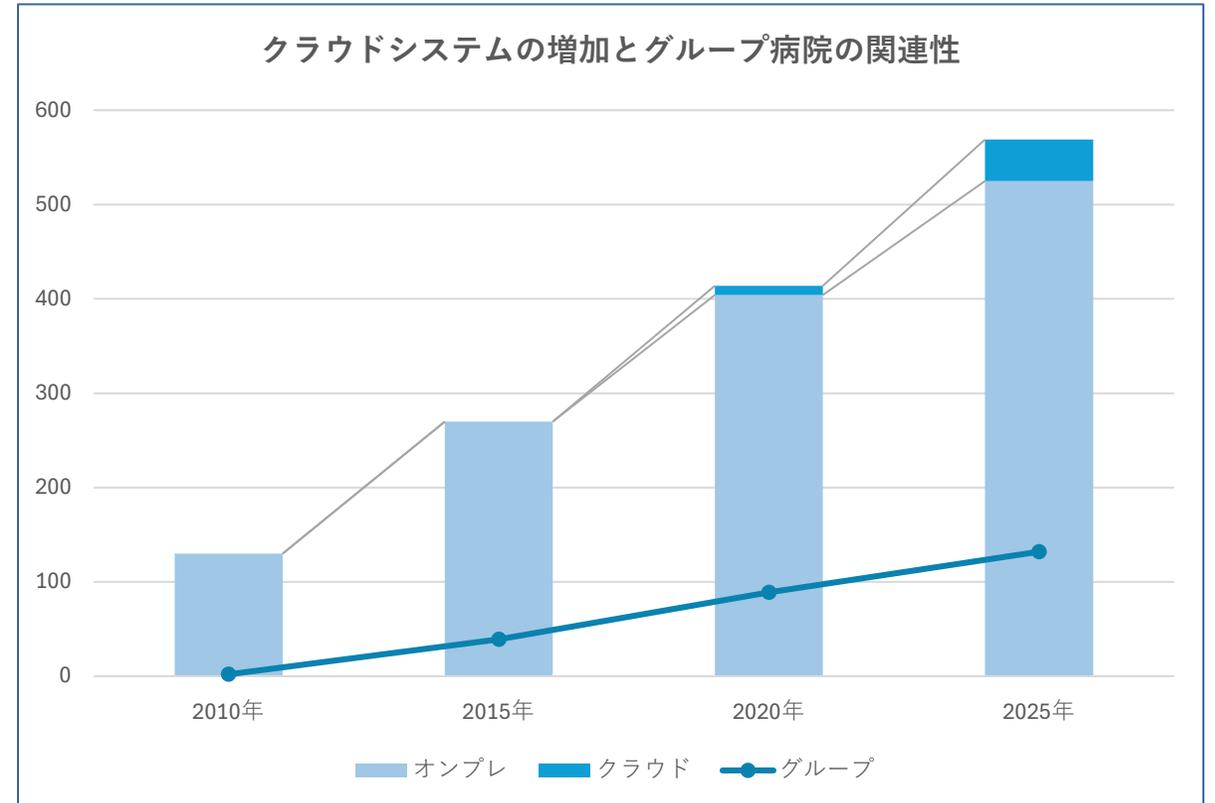
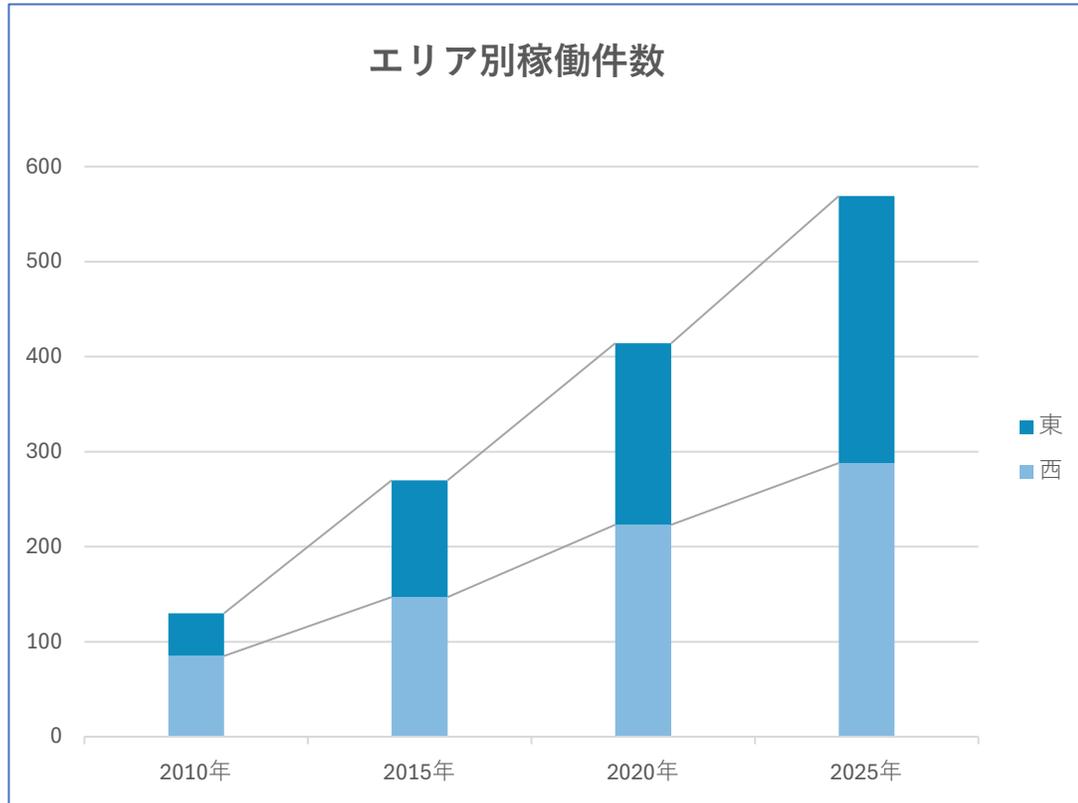
PHR (Personal Health Record)

個人の健康情報を一元化し、個人が自由に自身の医療・健康に関するデータにアクセスして健康情報を積極的に活用するためのシステム

今までご説明した弊社システムの利点および販売拠点の強化を戦略としております。

①東日本への販売拠点強化 ②グループ病院への拡販強化

エリア別にみても上場以降、東日本エリアへの強化が販売実績にも大きく反映し、また弊社機能利点をグループ病院へ展開する販売促進が全体の販売実績を確実に引き上げています。



働きがいと働き方改革の推進

1. 社員教育等の推進

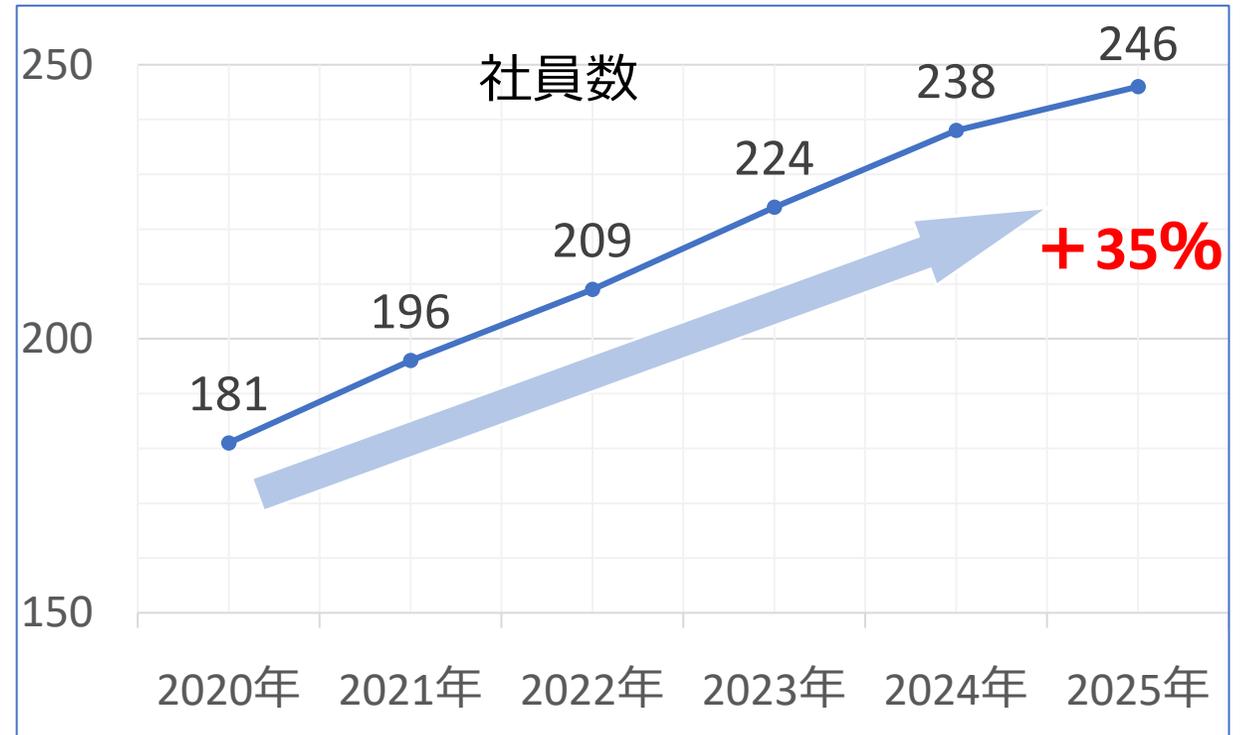
- ・ 外部研修の実施
- ・ 資格取得の推奨
⇒ 資格取得に対する報奨金制度

2. 働き方改革の推進

- ・ 女性活躍の場の拡大
- ・ 男性育休取得率や有休消化率の向上
(男性育休：2022年度取得100%)
- ・ 社員の給与増加

(2022年5月26日付 日本経済新聞にて「初任給を5年前と比べ49%引き上げた企業」として紹介されました。)

<積極的な人員採用>



社員のための生活支援の制度



奨学金返還支援

会社が奨学金の返済を代理返還



資格手当

毎月支給！入社前の取得も対象例) ITパスポート、基本情報や応用情報



健康管理手当

健康増進の一環として非喫煙者に支給されます



時短制度

正社員としてそのまま働いて、賞与の対象、退職金計算期間にも加算

業績評価/財形・社内交流の制度



特別社員賞

年に二回優秀な社員が選ばれ、報奨金もあります



持ち株会制度

会社が毎月の自社株買いを一部負担、上場企業ならでは！



海外社員旅行

主にハワイ、プランはオールフリーで各々楽しめます



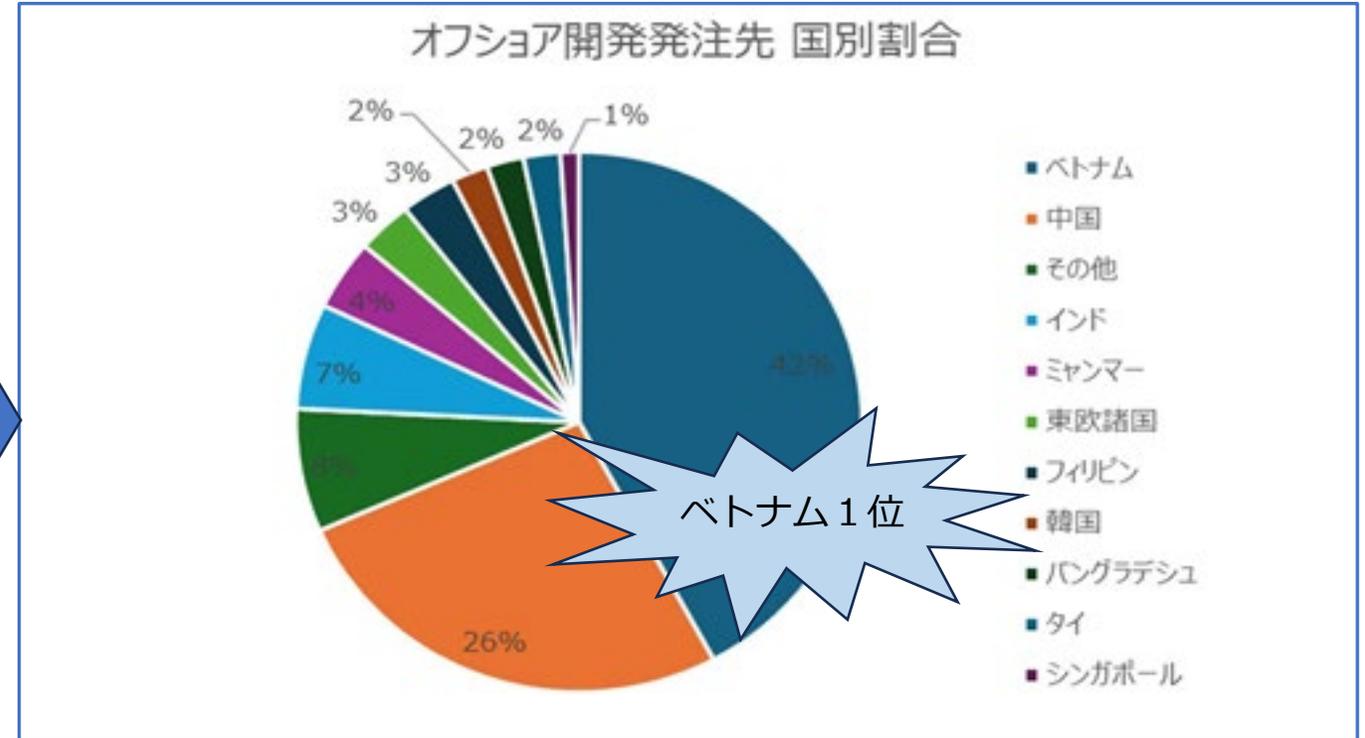
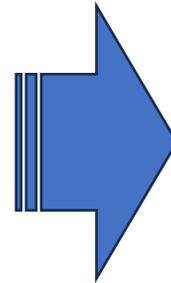
レクリエーション費用補助

社員交流を深めるため、レクリエーション費用を会社が補助

オフショア利用による人材確保

ベトナムへのオフショア評価

- 技術力があり優秀なエンジニアが豊富
- Web、I O Sなどの対応技術者が豊富
- 日本語が理解できる
- 仕事に熱心である
- 人材確保が容易
- コストが低減できる



「オフショア白書2024」より

東京証券取引所がグローブ市場の上場維持基準を引き上げる方針を掲げています。

当社は時価総額の向上と共に、市場区分の変更を目指すことで対応します。

上場維持基準の引き上げ

上場10年以上経過した企業で時価総額100億円以上が必要となる



株式分割、
会社の業績と知名度の向上

↓
流通株式、株主の増加

時価総額100億円以上

市場区分の変更

スタンダード市場、
さらにその上を目指す



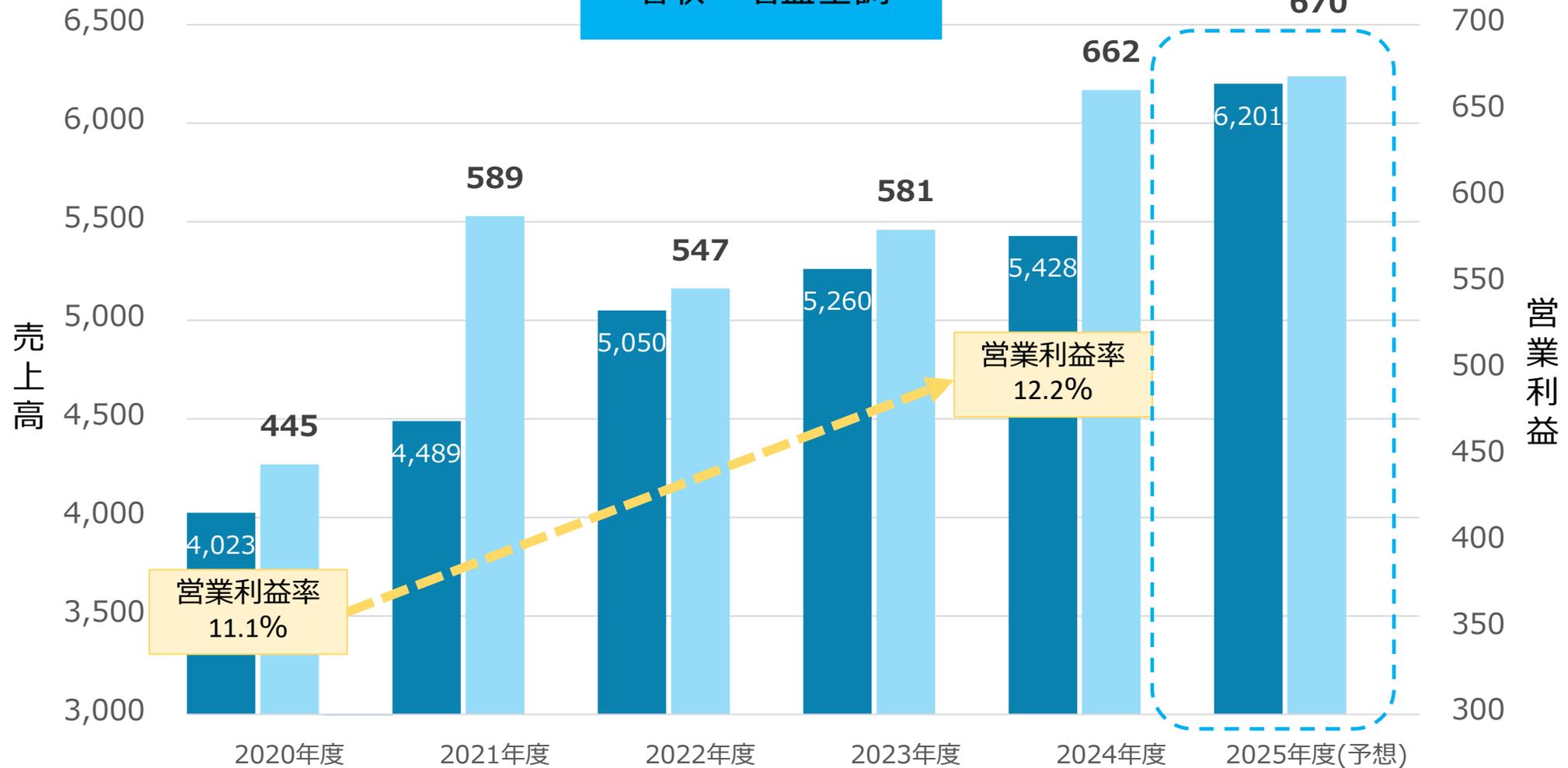
- 1 会社概要
- 2 医療を取り巻く現況
- 3 当社の強みと特徴
- 4 今後の戦略
- 5 **2025年12月期の見通し**
- 6 参考資料

2025年12月期の見通し 売上と利益の推移

(単位：百万円)

増収・増益基調

(単位：百万円)

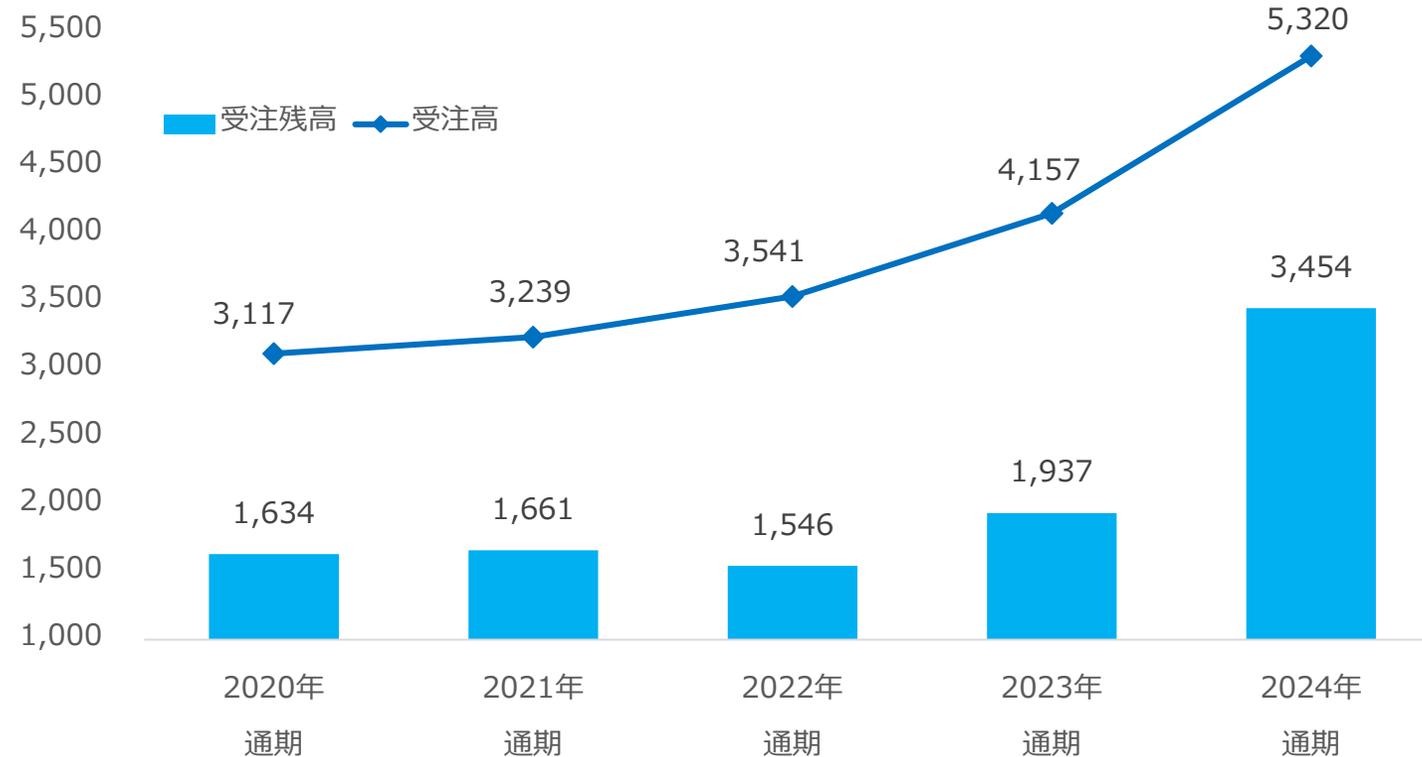


2025年度の売上高は2020年度と比べ**54%**増加見込み、また営業利益は2020年度と比べ**50.3%**増加見込みです。**最高売上と最高収益**を見込んでおります。

2024年度の年間受注高は53億20百万円で前期と比べて28.0%増加。
2024年度の期末の受注残高は34億54百万円で前期と比較して78.3%増加。

受注高と受注残高

(単位:百万円)



既存顧客のシステム更新とクラウド型電子カルテシステムの新規受注が堅調に推移。
医療DXの追い風もあり増収・増益で着地見込み。

(単位：百万円（配当金を除く）、下段は構成比)

	2024年12月期	2025年12月期	
	実績	予算	対前年比
売上高	5,428 (100.0%)	6,201 (100.0%)	+ 14.2%
営業利益	662 (12.2%)	670 (10.8%)	+ 1.1%
経常利益	700 (12.9%)	717 (11.6%)	+ 2.3%
当期純利益	480 (8.8%)	480 (7.7%)	+ 0.1%
1株当たり配当金	30円	(予定) 7.5円	

(期末配当)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 現在予想
1株当たり 配当金	12円	20円	30円	30円	30円	7.5円
配当性向	21.4%	28.2%	42.8%	39.7%	37.5%	37.5%

**2025年度の予想額は2025年7月1日で1株につき4株の割合で
株式分割を行ったため、当初予想額の1/4の金額となった**



- 1 会社概要
- 2 医療を取り巻く現況
- 3 当社の強みと特徴
- 4 今後の戦略
- 5 2025年12月期の見通し
- 6 参考資料

◆株式情報（2025年7月30日現在）

証券コード	3671
上場市場	東京証券取引所 グロース市場
発行可能株式総数	77,352,000株
発行済株式総数	24,050,800株
株式の売買単位	100株
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日

◆所有者別株主構成比（2025年6月30日現在）

金融機関	4.1%
金融商品取引業者	2.9%
その他国内法人	37.0%
外国法人等	1.0%
個人その他※	55.0%

※自己株式は、個人その他に含めております。



<https://www.s-max.co.jp>

ソフトマックスは、
クラウド対応Web型電子カルテで
医療DXを推進します。

本資料に記載されている業績見通し等は、現時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、その判断や仮定における不確定要素および今後の事業運営や状況変化等により、実際の業績等とは大きく異なる結果となる可能性があります。

info-ir@s-max.co.jp